



木くずと混合廃棄物のリサイクルで持続可能な社会を目指す

◆事業内容は

当社は2019年1月に創業。産業廃棄物のリサイクルの推進と減量化による最終処分量の低減を屋内型中間処理施設にて行っています。

創業時は主に西播磨地域の土木工事会社や解体工事会社を得意先様として、特に家屋解体現場や建設現場等から排出される木くずに特化した産業廃棄物の中間処理を行ってまいりました。

2022年6月に現在地への移転を機に、課題であった廃棄物処理能力を増強するとともに、従来の木くずだけの処分に新たに混合廃棄物を加えました。山陽道龍野インターチェンジから車で約5分と交通アクセスに恵まれた場所に立地していることもあり、最近では神戸市や明石市の企業様からのご依頼が増えています。

◆産業廃棄物処理について

木くずの処理能力は移転前の25t/日から95t/日と3.8倍に増強。持ち込まれる廃棄物を効率よく受け入れられるよう、中間処理施設は高さを十分に確保した受入口を2か所設け、木くず処理ラインと混合廃

棄物処理ラインで中間処理を行います。

木くず処理ラインでは、家屋の柱や梁の他、生木や木の根など建設業者や解体業者等より受け入れした木くずや木製パレットを、専用破砕機にて粉碎し、製紙原料や木質バイオマス燃料として搬出し再利用しています。

混合廃棄物処理ラインでは、重機や振動篩機、風力、磁力により紙くず、繊維、ゴム、ガラス、コンクリート、陶磁器、がれき類などの混合廃棄物から再生可能なものを選別しています。積替え保管施設を併設することにより、選別した廃プラスチックや金属くずを再資源として出荷しています。こうした多様な選別作業により最終

株式会社西播磨環境

代表 杉原 孝明
所在地 たつの市龍野町大道 374-3
TEL 0791-63-3810
営業日 月～土
受入時間 8:00～17:00

処分場に持ち込まれる廃棄物の減量に取り組んでおります。

◆これからは

産業廃棄物の処理は、現代社会において大きな課題となっており、当社が果たす役割も大きくなっていると考えております。どこの廃棄物をどこが運搬し誰がどれだけ処理したのかなど事細かく確認・管理するマニフェストを遵守し、循環型社会に貢献するべく産業廃棄物の再資源化と減容化を進め、今後も地球環境改善に貢献してまいります。



木くずは製紙原料や木質バイオマス原料として再利用